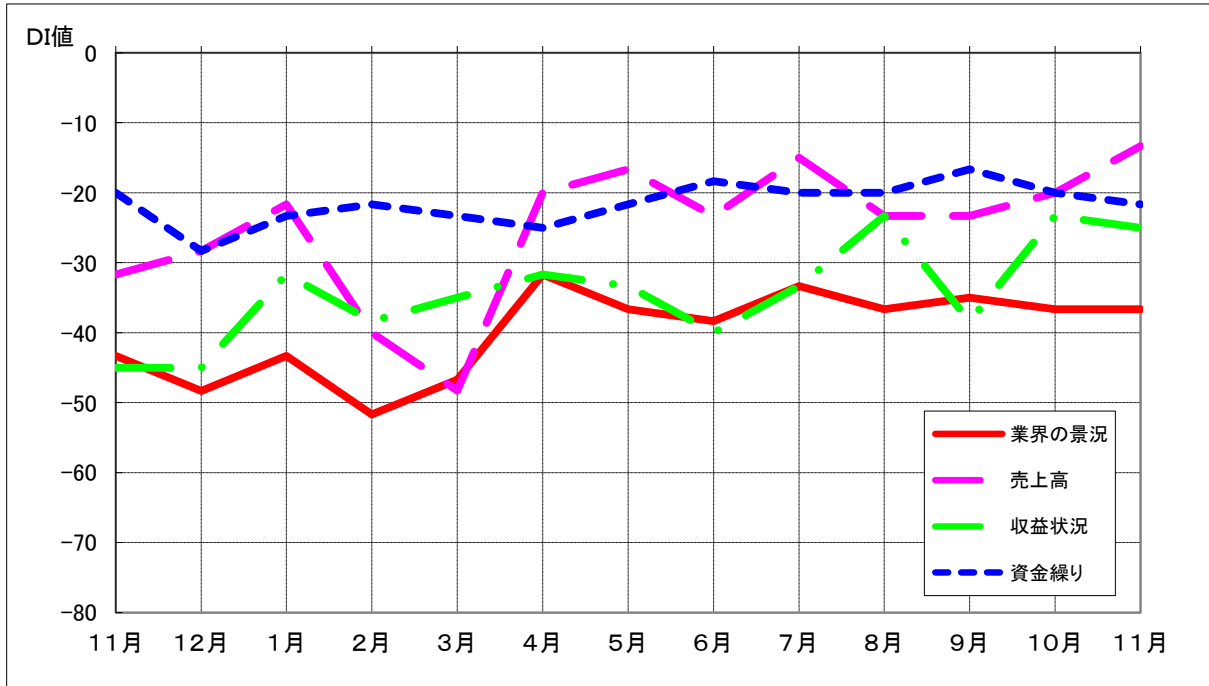


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成23年11月～平成24年11月

単位:ポイント



	H23		H24										
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
業界の景況	-43.3	-48.3	-43.3	-51.7	-46.7	-31.7	-36.7	-38.3	-33.3	-36.7	-35.0	-36.7	-36.7
売上高	-31.7	-28.3	-21.7	-40.0	-48.3	-20.0	-16.7	-23.3	-15.0	-23.3	-23.3	-20.0	-13.3
収益状況	-45.0	-45.0	-31.7	-38.3	-35.0	-31.7	-33.3	-40.0	-33.3	-23.3	-38.3	-23.3	-25.0
資金繰り	-20.0	-28.3	-23.3	-21.7	-23.3	-25.0	-21.7	-18.3	-20.0	-20.0	-16.7	-20.0	-21.7

○11月のDI値は前月と比べ、2項目で悪化し、1項目で改善した。「収益状況」DI値と「資金繰り」DI値は、それぞれ1.7ポイント悪化し、「売上高」DI値は6.7ポイント改善した。「業界の景況」DI値は変わらなかった。前年同月と比べると、「資金繰り」DI値は1.7ポイント悪化したが、「業界の景況」DI値は6.6ポイント、「売上高」DI値は18.4ポイント、「収益状況」DI値は20ポイント、それぞれ改善した。製造業においては、受注の減少に歯止めがかからない状況が続き、仕事のある企業とない企業の二極化が見られる。非製造業においては、一部業種で売上高の増加が見られるものの、冬物商戦等が盛り上がりせず、客単価の低下が続いている。総じて、需要・消費が停滞しており、景気回復要因も見当たらないため、先行きを憂慮する声が多い。

○組合の特記事項からは、製造業では、醤油・味噌製造業から、出荷量の減少と製造コストの上昇で厳しい経営環境が続いているとの声や、作業工具製造業から、自動車部品関連業種については大幅な減産であるが、大工用品は比較的堅調に推移しているとの声が出ている。非製造業では、花卉卸売業から、低温で花持ちが良いため販売数が伸びず売上が減少したとの声や、ビルメンテナンス業から、2ヶ月に亘るスポット業務のため、売上は増加したとの声が出ている。また、行政庁・中央会に対する要望として、中小零細企業に対する育成強化策の推進、円安への政策を望む声があった。